



## 第 41 回水煙会総会を無事終えて

(平成 23 年 3 月 26 日)

水煙会会長 長崎駿二郎

昨年 3 月より一年間水煙会を運転して参りましたが、何分不慣れな未熟者で、しかも東北関東大震災と言う状況下「開催そのものどうするか」の決断が大変でした。しかも開催しても交通事情等で何方も来れないのではないか、会場の暖房や照明はつかないのではないか、等と色々ご意見を戴き、開催の決断後もかなり不安定な状況にありました。しかし、水煙会にとって大切な節目の行事ですのでなんとしても開催を挙行すると決意し、約 35 名の方にご出席戴き無事**第 41 回水煙会総会を開催**する事が出来ました。これは会員各位の温かいご支援とご協力があったの事と改めて厚く御礼申し上げます。

そしてご来賓で横濱工業会の井上理事長を始め、叙勲を受けられた後藤先生それに日本建築学会賞をダブルで取られご講演を戴きました北山先生、Y-GSA 賞の中山さん、吉原賞の浜辺さん、水煙会賞の安武さん、皆様にもご臨席賜り、後日「充実した総会」になったとのご評価を戴きました。

しかし、日本全体を震撼させる未曾有の大災害が発生し、多くの被災された方々が食べるものや着るものも不自由されている中ですので、恒例の**懇親会**だけは、国立大学内と言う場所柄も考慮いたしまして差し控えました。そして**参加者全員の皆様**から当日の懇親会参加費を『被災者への義援金』と言う事でご寄付して戴きました。現在、水煙会のホームページからも『義援金』をお願いしております。小額でも結構ですので是非、水煙会事務局の方へお送り戴けますように、宜しくお願い致します。

水煙会の平成 22 年度の活動や会計報告、次年度の活動方針や予算案(別添資料参照)については皆様からご承認を戴き、顕賞を受けられた方へのお祝いと共に、水煙会 51 名の物故された方への弔意と合わせて今回の大震災で犠牲になられた方々へ全員で黙禱を捧げました。そして今年度の卒業設計展は中止といたしました。学生代表の浜辺さんから水煙会に対して支援いただいた事の御礼がありました。

その後、北山恒教授より「スタジオ教育と私の建築」という演題で大変熱の籠った素晴らしい講演をして戴きました。大震災のことを配慮され、第1次世界大戦、関東大震災、太平洋戦争、と言った大きな社会変動が建築教育に大きく影響を与えているお話から、東大、東工大、早稲田大と言った他校のスタジオ教育の動きと横濱高等工業学校、中村順平先生のボザール・スタイルのスタジオ教育の動き等、横浜国立大学の新しい建築教育への挑戦に至るまで聞く者を最後まで魅了する内容でした。その後、会場の諸先輩方から当時の建築学教室の様子が語られ、伝統と栄光の横浜の建築教育の歴史を垣間見ることができました。改めて北山先生に深謝申し上げますと共に、出来れば、ご出席が叶わなかった会員の皆様にも何らかの形で見て戴けるようにしたいと思っております。

講演後、後藤先生のご挨拶も戴き無事閉会いたしました。出席された多くの方々は、一昨年耐震改修された建築学棟を見学し、特に自分達が苦勞して書いた卒業論文が半世紀たってもきちっと保管されている状態を見て感激され、交通事情もありましたので三々五々の解散となりました。

このような状況下での水煙会総会が過去あったかどうか知りませんが、ある意味で記念すべき忘れえぬ総会となりました。改めて会員各位のご支援・ご協力を引き続き宜しくお願い申し上げます。

以上です、有難うございました。